

令和7年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	58	学校名	静岡県立掛川工業高等学校	校長名	中村 博志
------	----	-----	--------------	-----	-------

3 本年度の取組（ゴシック体は重点項目）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	生徒の基礎的な学力及び技術・技能の定着を図り学び続ける人の基盤作り	<ul style="list-style-type: none"> 基礎力診断テストにおいて学年の45%以上が学習到達度C1以上。 「授業のある日は授業以外で1時間以上学習に取り組んでいる」と答える生徒50%以上。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 読書、自学自習ともグループ編成などのチームにするか、アウトプットの場を設定する。最近の子は自分のためよりも仲間のために取り組む傾向がある。
		<ul style="list-style-type: none"> 遠隔授業が必要な生徒に対しオンライン発信の常態化。 「各授業の目標と自身の取り組む課題がはっきりしている」と答える生徒80%以上。 生徒の「授業への満足度」80%以上。 自身が取得可能な資格・検定について理解している生徒100%。 技能検定20人以上、第2種電気工事士20人以上の合格者。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 「授業への満足度」に関し生徒・保護者とも90%以上が満足している。教員の頑張りに敬意を表します。 電検3種の合格者数も出してほしかったです。
イ	ICTの活用と「主体的・対話的で深い学び」の充実	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した授業に取り組んでいる教員100%。 一人一台端末の効果的な活用に資する授業公開を1回以上実施。 授業を参観した教員100%。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 先生方の負担が大きくないか気になります。 何が原因か不明だが、授業改善体制や通信環境が整っていないと感じている教員が数名いる。
		<ul style="list-style-type: none"> 授業以外で生徒が議論、協力、発信する場面を設定した教員80%以上。 	A	A	
ウ	計画的なキャリア啓発と個に応じた適切な進路指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> 「生徒の希望や適性を生かした進路指導、進路相談をしている」と答える生徒・保護者90%以上。 進路実現100% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> キャリアパスポートやポートフォリオがよく分からなかったが、学校側の説明により、その意義と活用方法を理解できた。
		<ul style="list-style-type: none"> キャリアパスポート、ポートフォリオを有効活用し、各生徒の希望や適性に合った進路指導を推進する。 	A	A	

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
エ	豊かな人間性を持ち地域や産業界でリーダーとなる生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> 準備を終えて授業・実習に臨む生徒 100%。 「挨拶や身だしなみの指導が明確で納得できる」と答える生徒・保護者 85%以上。 自身が守るべきルールについて考えた生徒 80%以上。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 「準備を終えて授業に臨む生徒」の割合が90%を超えているので評価Aでよい。 目標が100%は高すぎると感じます。
		<ul style="list-style-type: none"> 「学校生活が充実している」と答える生徒 80%以上。 「掛工へ入学してよかった」と答える生徒 85%以上。 生徒が参加した学校生活改善への取組み実施。 各科で一つ以上の外部機関等と連携した課題研究・実習の設定。 各地域行事やボランティア活動に参加した生徒 70%以上。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 大学に協力してほしいことがあれば、高校側から遠慮なく申し出てほしい。大学の施設や実験機材の見学など協力したい。
		<ul style="list-style-type: none"> 読書週間以外に2冊以上の本を読んだ生徒 60%以上。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校として本の内容やジャンル等を指定すべき。 読書の感想等を発表する場を設定してほしい。 読書を人間力養成の機会と位置づけ、ある程度指定する方がよい。 大人でも難しい目標。
オ	「ものづくり」の魅力拡大に寄与する教育・広報啓発活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> 小、中学生が「ものづくり」を体験し魅力を感じる教育プログラムの開発と小・中学校、地域での実施。 講座や学校説明会等に参加した児童生徒及び保護者数延べ1,000人以上。 各種大会（エコラン、県ロボット等）での上位入賞。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 良い高校と分かっても受験しないのは何故か、考えるべき。 1400人近くが興味関心を持ち来校しているので、受験者増加に繋げてほしい。
		<ul style="list-style-type: none"> 出前講座、出前授業、巡回展示他、広報活動の検証と実施。 ホームページ・学校公式Instagramの投稿発信150件以上。 課題研究発表会を中学生、地域へ公開する。各科で1回以上課題研究の成果を校外で発信する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> マスコミを上手に使い、今以上に校内活動を発信すべき。地域にはOBもたくさんいるのでネットワークも活用できるはず。 他校の高校生との対談があってもよい。 Instagramが分かりにくい。「掛工」とはっきり明示してほしい。

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
カ	生徒・教職員が 安全・安心に授業や諸活動に取り組む ことができ、地域や保護者から信頼される学校の教育環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・「校内に悩み事などを話せる（相談できる）教員や仲間がいる」と答える生徒 75%以上。 ・学校全体で1日あたりの欠席 6.0人以下、遅刻 2.0人以下、早退 1.0人以下。 ・支持的、支援的な生徒指導に対する研修の実施 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・悩み事を話せる組織体制や人員が整っていることは素晴らしい。 ・話せる人がいると何故いいのかも伝えてほしい。 ・欠席等を目標設定に入れるのはいかがなものか。学校の努力以外の部分も多いので。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「校内が安全に整備、整頓されている」と答える生徒・保護者 80%以上。 ・校内清掃が行き届いていると答える生徒 80%以上。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃は生徒それとも用務員の方ですか。きれいに整っていると思います。
		<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の年 3回以上実施。 ・日常の振り返りに基づく安全教育の毎月実施。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・火災・地震以外の防災、例えばコロナウィルスなど感染症に関する危機管理も検討してほしい。
キ	学科・教科・分掌を超えた 業務の平準化・効率化の推進と働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> ・一人当たりの年間時間外在校時間 20%削減。 ・各学科・教科・分掌で業務の平準化又は効率化に向けた提案 1件以上。 ・一人当たりの年間の休暇取得時間 100時間以上。 ・ワークライフバランスを活用できたと答える教職員 100%。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークライフバランスの取れた教員が理想の教員として生徒・保護者から信頼されるべきと考えます。個人だけでなく学校全体で取り組む課題だと思う。 ・この項目は高い目標を維持して働きがいと働きやすさを追求すべきと思う。